

そらまち集会2025

気象制御の技術開発者との対話

私たちがいつも眺めている空。そんな空から降る雨が、筑後川の流れを生み出し、私たちの暮らしに恵みをもたらす一方で、時として大きな災いを引き起こすこともあります。近年、豪雨災害が増え続ける中、天気への人為的な働きかけにより、豪雨の勢いを弱めようとする<気象制御>の技術開発プロジェクトがスタートしました*。本イベントでは、JIRO（筑後川）でつながる「そらのまちづくり（そらまち）」の一環として、気象制御の技術開発者との対話を通じて、気象制御の新しい技術を活用しながら、豪雨と共に生きる久留米の未来をみんなで考えていきます。



※科学技術推進機構ムーンショット課題8

「2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現」
における研究開発プロジェクト「ゲリラ豪雨・線状対流系豪雨と共に生きる気象制御」

2025
10.20 [月] 17:30 - 20:00
くるみホール（久留米市役所 2 階）

参加対象
市民・学生・企業関係者・自治体職員・その他関心のある方

参加無料

定員 50 名^{程度}

タイムテーブル

17:45 気象制御に関する情報共有
▶18:05

18:05 意見交換会（ワークショップ）
▶20:00



登壇者 山口弘誠

京都大学防災研究所 気候変動適応研究センター教授。
2009 年京都大学 大学院工学研究科 博士後期課程修了、博士（工学）。京都大学 学際融合教育研究推進センター 特定研究員、京都大学防災研究所 准教授を経て 2025 年より現職。専門は水文気象学。特に災害をもたらすような雨雲の発生過程を研究している。自然を肌で感じて、想像力と創造力を磨くことがモットー。

予約方法

こちらから
お申し込みください

